



岩木山虹農園 便り 29号
 発行元 岩木山虹農園
 弘前市 葛原字大柳 171-1
 TEL 090-3757-8174
 Email oiwaki2021@outlook.jp
 文責 前田 尚人

寒さの夏はオロオロ歩き（宮澤賢「雨ニモマケズ」より）
 寒い夏は怖いです。冷害の年は作物は稔りません。寒い夏は、百姓は稔らない稲を眺めながらどうすることもできずオロオロ歩く他ないので。今年も稲も野菜も稔っていますのでご安心ください！ただし全国的に暑さがきびしいですね。弘前市では、八月に最高気温が三〇度を超えた日数が二〇日以上になった年は、過去四十五年間で三回ありました。一九八五年は二十五日、一九九四年は二十一日、二〇一〇年は二十二日でした。そして今年度の日数は八月二十三日の段階で二十二日、三十五度を超えた日数は六日。すでに過去最高です。来年はエアコンを買おうかな…。

第五回 配達

越後ハニー枝豆（自家採種二年目）

高温かつ雨が足りずまだ太りきっていませんが配達に踏み切りました。枝豆は数種類ありますが、美味しいと感じたときはやめられない感じになりますね。

あくまで予定ですが、枝豆は今後、だだちゃ豆九月上旬、黒大豆枝豆（九月中旬）、青豆枝豆（九月下旬）秘密の枝豆（十月上旬）と、成長次第配達します。お楽しみに。

ピーマン（自家採種七年目）

胡瓜
 相模半白胡瓜尾（自家採種八年目）
 神田四葉胡瓜（自家採種三年目）
 どちらかです。

トマト

アロイトマト（自家採種十年目）
 アミーゴトマト（自家採種三年目）
 雨の影響で実割れモあります。申し訳ありません。暑い夏は冷やしトマトで乗り切りましょう。

デストロイヤヤー（ジャガイモ）

わたしとおつきあいがある五所川原市の高橋教仁さんが栽培したジャガイモです。秀明自然農法で長年無農薬、無施肥で栽培している方です。今年じゃがいもの量が少なかったので高橋さんから仕入れました。粉室であっさりした味です。

茄子

虹農園の茄子（自家採種十年目）
 高橋農園真黒茄子
 小ぶりの茄子は虹農園の茄子、大きめのものは高橋教仁さんの茄子です。これも茄子の量が少ないので高橋さんから仕入れました。

第六回配達予定 九月八日（金）

- 品目予定
- ・ 枝豆（だだちゃ豆）
 - ・ シシトウ
 - ・ 茄子
 - ・ トマト
 - ・ 他

※お詫び

トウモロコシ（黒もちきび）は全てたぬきさんに食べられましたのでお渡しできません。ただ種取り用に二本残ったのは幸いでした。

カミアカリというお米

巨大胚芽米きんだいはいがまいをご存じでしょうか。胚芽が通常のお米の三〜四倍の大きさのためアミノ酸の一種であるギャバの量が多いお米です。ギャバは神経を鎮め血圧上昇を抑える物質だそうです。最近出回っている巨大胚芽米は研究所で開発されることが多いのですが、カミアカリは静岡県藤枝市の有機米生産者である松下明弘さんによつて、一九九八年にコシヒカリの田んぼで突然変異したお米として発見されました。発見した巨大胚芽のお米を七年かけて育成した新種のお米です。

筆者は二〇一八年から実験的に栽培してしました。静岡で発見されたコシヒカリ由来のお米ですので無理かなと思つていましたが、試験栽培を重ねるうちに青森県でもなんとか栽培できることがわかりました。この夏、育成者の松下明弘さんから栽培の許可をいただき、日本最北端のカミアカリとして、日本で八人目の栽培者になりました。玄米専用米として、また、甘酒やお味噌の原料米として販売します。



出穂したカミアカリ

岩木山虹農園の田んぼ



カミアカリの田んぼと 古民家と 岩木山



出穂した亀の尾



出穂したコガネモチ



出穂したササシグレ



コガネモチの田んぼと 岩木山

当農園で栽培しているお米
・ササシグレ (宮城県)
・亀の尾 (山形県)
・カミアカリ (静岡県)
・コガネモチ (新潟県)
おいしさと、健康を維持するための栽培 (無農薬・無施肥) や品種を求めているうちに、すべての品種が日本最北端の栽培になってしまいました。今後の気候変動によって北海道でも栽培する方が出てくるかもしれません。
稲刈りは十月下旬、お米が販売できるのは十一月上旬です。